

SAGAMIは今年で30周年!



無線から今時のカルチャーまで、幅広いジャンルをカバーする不思議な空間。2017年は、銀河連邦建国30周年記念の特別局8J1GINGA/1も運用しました。

C-011までお越しください!

無線から今時のカルチャーまで、幅広いジャンルをカバーする不思議な空間。2017年は、銀河連邦建国30周年記念の特別局8J1GINGA/1も運用しました。

今年4月7日、8日の市民桜まつりで行われた「ラジオ製作教室」での工作の様子。熟練係員と一対一のため、半田ごてなどの工具使用も安心・安全。近年は用意する数では足りないほどの大盛況ぶりである。

SAGAMI-NET JARL登録クラブ 11-4-60

神奈川県を中心に、インターネットなどのニューメディアの利用を主として活動するアマチュア無線団体で、無線に関係するハードウェアやソフトウェアの実験・開発・製作・運用を行っています。近年は、メンバー各自の環境に変化はあるものの、JARL神奈川県支部主催イベントへの参加や協力、主要活動拠点のある相模原市の他のアマチュア無線クラブとの交流や特別局運用への協力など、様々な活動に積極的に参加・協力しています。

WAZは、米国CQマガジン社が発行しているアワード。世界を40のゾーンに区分し、それら全てのゾーンにある局と交信してQSLカードを得ることで申請できるもので、第二次世界大戦以前から続く長い歴史を持つている。(写真提供 J H I P H)

「アマチュア局が少ない地域」「そもそも人がほとんど住んでいない地域」という壁にぶつかる。アマチュア局が少ない地域との交信は、スケジュールQSOでない限り運まかせとなってしまふ。そしてアマチュア局がない地域の場合は、ペディションその他での移動運用に頼るしかない。つまり、WAZは、根気よく交信履歴を蓄積していくことで達成できるアワードであると言える。

幸いなことに、最近では弱い電波でも遠距離と効率よく交信できるデジタルモードが広まってきていることで、今まで電波が届かない、届きにくいと思っていた地域との交信の可能性が高まる傾向にある。また今年からは、ARRL米国のアマチュア無線連盟が運営しているLOTWという電子ログのシステムで交信局双方のログが一致すれば、紙のQSLカードを交換したり提出することなくアワードを申請できるようになり、WAZほか、様々なアワードに挑戦する敷居が下がってきている。

「さがみはらフェスタ2018」にてJA1YAA/1を公開運用! の公開運用、第一電波の無線キャンピングカー展示、自作無線機器の展示、そして毎回大好評のラジオ工作教室を予定している。ラジオ工作教室は、半田ごてなどの工具類を初めて触る子供でも安全に「ものづくり」を体験できる貴重な機会です。高い人気を得るようになって久しい。「さがみはらフェスタ」では、らーめんグランプリ、友好都市の物産品販売、スポーツ体験ゾーンなど、すべての来場者に楽しんで頂ける内容となっているので、是非ご家族・ご友人と一緒に足を運んで頂きたい。

SAGAMI-NET所属社団局

- JM1YOV SAGAMI-NETやまゆりクラブ
 - JM1YOW SAGAMI-NET県央大和 (一時休止中)
 - JM1YPA SAGAMI-NET相模原AMC
- インターネット・ホームページ <http://www.sagami-net.jp/>
- mixiコミュニティ http://mixi.jp/view_community.pl?id=1246110
Twitterアカウント [sagaminet](https://twitter.com/sagaminet) こちらも併せてご覧ください!

日汗工業新聞

発行所 SAGAMI-NET 広報室 神奈川県相模原市中央区 <http://www.sagami-net.jp/>

夏も冬も暖かい ミートテック 究極の保温素材

やがてパソコンの世界では、いま一般家庭で最も普及しているであろうOSの基礎である、ウィンドウズ95の登場によってインターネット全盛期に突入し、一気にパソコンやネット利用者が増え始めることになる。

「音が聞けるデモを実施予定だ。7メガS/B区分で聞こえるヘンな音、「妨害だ!!」と言う方もたまにいます。海外局との交信電波かも。随時デモのため、気になる方は声を掛けたい。これら以外には、恒例のDVD販売、当てクジ、ヨーヨーすくい、雑貨販売などを予定している。隣接する秋葉原無線部の小間とお友達まで、来場されるすべての方にお楽しみ頂けるだろう。(な)

今年の展示内容は何?

本題である今年の展示内容を紹介します。まずは、JF1TPR熊野谿氏によるマイク口波展示。今年、SDRによるデジタルATV送信機を展示予定だ。パソコン(ソフトウェア)による制御を増やすことで送信機をシンプルなハードウェアで構成することができ、再現性も高くなっている。なお、運が良ければ地デジ放送と同じISDB-T方式によるデモが見られるかも知れないとのこと。内輪でも期待のネタとなっている。また恒例となっている「百均ショップ」の商品を駆使した装飾も展示される予定だ。中尾氏は、溶接作業用の保護面に取り付けるLEDライトを展示予定だ。アマチュア無線からちよつと離れているようにも聞けるが、夜間の移動運用や、両手を使いたい手元作業をする時に使う照明のヒントになるのではないだろうか。

「アマチュア局が少ない地域」「そもそも人がほとんど住んでいない地域」という壁にぶつかる。アマチュア局が少ない地域との交信は、スケジュールQSOでない限り運まかせとなってしまふ。そしてアマチュア局がない地域の場合は、ペディションその他での移動運用に頼るしかない。つまり、WAZは、根気よく交信履歴を蓄積していくことで達成できるアワードであると言える。

幸いなことに、最近では弱い電波でも遠距離と効率よく交信できるデジタルモードが広まってきていることで、今まで電波が届かない、届きにくいと思っていた地域との交信の可能性が高まる傾向にある。また今年からは、ARRL米国のアマチュア無線連盟が運営しているLOTWという電子ログのシステムで交信局双方のログが一致すれば、紙のQSLカードを交換したり提出することなくアワードを申請できるようになり、WAZほか、様々なアワードに挑戦する敷居が下がってきている。



相模原関連の無線関係イベント

- 8月25日(土)~26日(日) ハムフェア2018 相模原市役所アマチュア無線クラブが「大都市アマチュア無線クラブ連絡協議会」の一員として協同出展。J-30へお越しください!
- 10月20日(土)~21日(日) さがみはらフェスタ2018 JR相模原駅の北側、相模原補給廠返還地で開催されるイベントにて、アマチュア無線をはじめとした電波利用のPRを行う。

SAGAMI-NET 創立30周年記念アワード

詳細情報は今後ホームページやツイッターで随時公開予定!

SAGAMI-NETでは、創立30周年記念と今後の発展を祈念したアワードの発行を予定しています。詳しい内容については検討中ですが、ハムフェア2018時点で決まっている内容は、下記のとおりとなります。

- ・アワード発行に有効な交信は2018年12月1日~2019年11月30日(JST)のものとする。
- ・発行受付は2019年12月末ごろまで(最終の有効交信の後、1か月程度)を目安とする。
- ・複数の発行形式を設定する。
 1. セルフ発行
 - ・・・ホームページで台紙を公開し、各自で印刷して必要事項を記入して頂く。(交信証明は自己宣誓とする。)
 2. 事務局からの発行(PDF形式ファイルでの発行)
 - ・・・電子メールにて申請、電子メールにて返信する。(申請時は交信証明としてログ添付を必須とする。)
- ・PDF形式を発行した局は、SAGAMI-NETホームページにて一定期間コールサインを掲載する。
- ・複数の達成条件や特記事項を設定する。
 - ・・・SAGAMI-NETの主要な活動地域や活動内容にちなんだものとする。

上記は検討中の情報です。ホームページやツイッターで正式情報として公開するまでは、お問い合わせには応じておりません。



数量限定！
500円

いつものDVDROM、懲りずにやります。長きにわたり収録している定番コンテンツに留まらず、大型二輪免許取得記、無線ガール「詩音(しおん)」ちゃんのハムフェア写真集、アワード取得記ほか、無線以外にも楽しめる新しいコンテンツが盛りだくさんです。

限定20枚の頒布となっていますので、お求めはお早めどうぞ。

SAGAMI-NET DVDROM 2018

- JF1TPR** 定番、登山写真のライドショー。今年はどうな山が収録されているのでしょうか？
- JG1UAA** 恒例の日々の日記を収録。今年は大規模二輪教習、BMXで地面とKiss！などなど、新しいネタもあります。お楽しみに。
- JH1HPH** CQ WAZアワードを28MHz帯SSBで達成した際の取得記です。あなたも是非挑戦を！



SAGAMI-NET DVDROMのつかいかた (パソコンとDVDを読み込めるドライブ、Webブラウザが必要です)
本DVDROMをパソコンのDVDまたはBlu-rayドライブに挿入し、Windowsパソコンの場合は「コンピューター」、「DVDドライブ」の順に開き、中の「index」または「index.html」のアイコンを開くとWebブラウザでメニューが表示されます。ActiveXの警告が出る場合がありますが、そのまま無視して実行・続行して頂いて問題ありません。

SAGAMIの30年をちょっとだけ振り返る

本紙第一面の見出しにあるとおり、SAGAMI-NETは今年の十二月で創立三十周年を迎えるが、そのほとんどはハムフェア出展の歴史といってもよいだろう。初めてハムフェアに出展したのは一九九一年。まだビッグサイトがあるはずもなく、会場は晴海そして会期も三日間だった。

(左写真)当時のガイドブック

当時はパケット通信を中心に活動する近隣クラブとの交流も深く、それらのクラブと出展小間を並べて「パケットストリート」を形成するほどの勢いであった。SAGAMIでも、頒布物の準備に忙しく、最終日には若いメンバーも疲労の色を隠せないなど、現在とは比べ物にならないほど精魂を注ぎ込んだ活動をしてきた。

また、ハムフェア以外でも毎月ミーティングを開き、個々の実験成果を発表するなど、無線やコンピュータへの興味を貪欲に追いつけていた。

しかし近年はパケット通信自体がマイナーなモードになっており、SAGAMIのメンバーにおいても就職ほかライフスタイルの変化に伴ってアマチュア無線自体から離れた者もいるなど、活動

の内容がメンバー個々のスタイルに強く依存するようになった。これは一見すると単なる衰退だが、SAGAMIは元々クラブとしての「縛り」が無きに等しいため、活動の多様性というプラス面が前面に出てくる結果となった。

これからのSAGAMI

現在のSAGAMIは、メンバーが多忙でなかなか集まってしまうのもあり、公には新規メンバーを募集していない。しかし、個々の活動の中で新たに(強制的に?)メンバーになった者もいるなど、地道に活動を続けている。創立三十周年を良い契機として、最近狭くなってきているアマチュア無線活動の幅を改めて広げることと考えているので、相模原近隣にお住まいの方や、他クラブ関係の方がいらっしゃれば、是非お付き合いをお願いしたい。

SAGAMIのアワード

SAGAMI-NET創立三十周年記念と今後の発展を祈念したアワードの発行を検討している。アワードという賞状形式のものを連想しがちであるが、SAGAMIは少人数のクラブであることから、メンバーの負荷を考慮し、「公園アワード」をヒントとしたセルフ発行や、メールでの申請、PDFファイルでの発行など、新しいスタイルとする予定である。詳細については別途情報を発信していくので、ホームページやツイッターなどで定期的にアップデートを確認して頂きたい。(な)

ドローンに無線の免許が必要なのは本当？

「ドローン」という言葉をここ最近よく聞くようになってきた。ドローンとは無人航空機の通称であり、広義の意味では航空機以外のものを指す場合もあるが、ここでは便宜上、無線で操縦する、複数の回転翼を持つ小型無人航空機を取り上げることとする。

ドローンは、一万円程度のオモチャから十万円を超える本格的なものまで、家電店などでも容易に入手できるようになってきた。これらのうちバッテリー込みで重量二百グラム以上になる機体は、航空法の規制対象となり、飛行には厳密な規則が適用される。違反すると重罪に問われることがあるため、注意が必要である。

写真=DJI「Phantom」家電店でも買えるが、航空法の規制を受ける立派な「航空機」である。

さて本題の無線の免許の話に入るが、ドローンの操縦には、機体を操縦する電波と、機体のカメラで撮影した映像を手元に送る電波の二つが主に使われている。

航空法の規制を受けない小型の機体で、「無線LAN」の電波を使用しているものは、無線の免許は不要である。操縦や映像確認に

スマートフォンだけあればよい機体は、ほぼすべてがこのケースに該当すると言える。

しかし航空法の規制を受ける大型機や、業務使用のため遠距離の操縦を行える機体などで無線LANと異なる規格の電波を使用しているものについては、「第三級陸上特殊無線技士」、または相当の無線従事者資格と、無線局の免許が必要になる場合がある。

このうち、映像伝送用の電波はアマチュア無線の免許で使用できるものもあるが、アマチュア無線は業務目的に使用できない、またアマチュア局以外の無線局(一次業務の無線局)に混信を与えてはならない、という制約が適用される点に注意が必要である。

これは、地上から見て高い位置にある機体から電波を送信する関係上、電波が広範囲に飛び、想定外の距離にある他の無線局に混信妨害を与える場合があるため、地上同士の通信とは異なる配慮が必要という意味である。(山の上で移動運用するとハンディ機でも遠くへ飛ばすことと同じである。)

また、無線LANの電波や、それと同じ周波数帯を用いる機体では、他の電波からの混信にも注意が必要である。地上では平気でも、高度を上げた機体は広範囲から多くの電波を受信するため、突然操縦不能になる場合がある。

ドローンの操縦を楽しむ際は、故障や操縦不能になった際に重大な事故が発生するようにならないよう、また航空法や電波法に違反しないよう、事前調査と訓練、飛行地点周辺への配慮が必要などを忘れてはならない。(な)

～近隣クラブ紹介～

相模クラブ

JARL登録クラブ
11-1-67

当クラブは、相模原市南区を中心に活動するアマチュア無線クラブです。クラブシャックに1.9MHz帯、3.5MHz帯のフルサイズダイポールアンテナを備えるなど充実した設備を持っており、コンテストへの参加、記念局運用時におけるサービスなどを行っています。また、長距離糸電話、地中通信などの面白実験も行っており、高性能アンテナ「ヘンテナ」を開発したクラブとしても知られています。(QEX誌2012年5月号別冊に特集)毎週土曜の夜にオンエアミーティング、毎月第3土曜の午後にはクラブシャックで実験やミーティングを行うなど、盛んに活動を行っています。ミーティングに参加できる方であれば、年齢を問わず入会を歓迎しています。(ご興味のある方はまず見学からどうぞ。)くわしくは、右記の当クラブホームページをご覧ください。 <http://sagamiclub.life.coocan.jp/>

本コーナー掲載内容へのお問い合わせは、表記のホームページまたは連絡先をご参照ください。記事広告の掲載希望については、SAGAMI-NET広報室までお問い合わせください。

JH1YST
ZONE 25 JCC#111008
相模原市南区上鶴間6-6
GL:F1M5RM

②糸でんわ 400M
①ヘンテナ 相模クラブと言えよ
③地中通信 400M

相模クラブ SINCE 1967